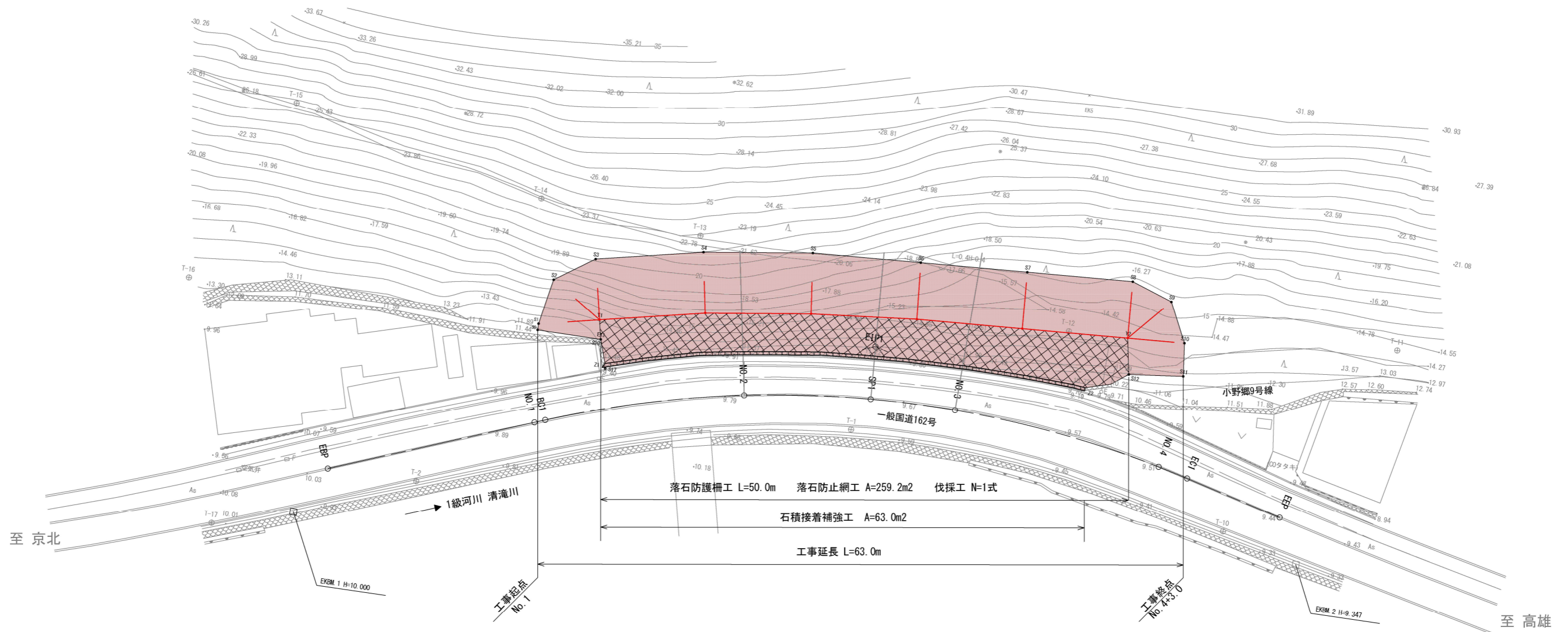


# 平面図 S=1/400



座標一覧表

測点	Xn	Yn
S0	-98684.035	-29504.368
S1	-98683.632	-29503.921
S2	-98681.311	-29500.163
S3	-98682.327	-29495.863
S4	-98688.302	-29487.587
S5	-98694.929	-29479.661
S6	-98702.111	-29472.368
S7	-98709.205	-29465.173
S8	-98716.226	-29458.052
S9	-98720.020	-29456.449
S10	-98723.837	-29457.999
S11	-98726.180	-29460.072
S12	-98722.768	-29463.929
S17	-98690.900	-29501.756
S20	-98688.507	-29500.337

凡例

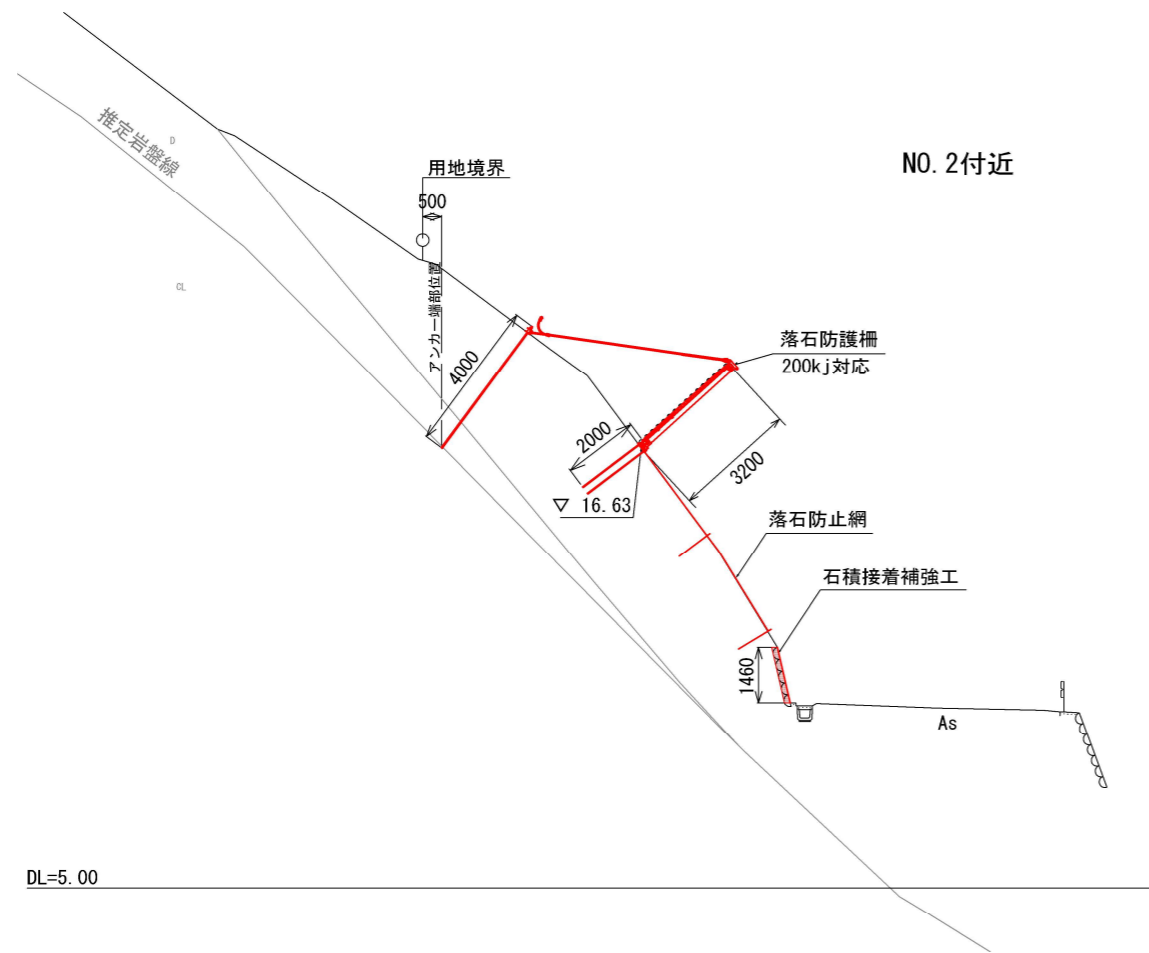
	落石防護柵工
	石積接着補強工
	落石防止網工

本工事施工箇所

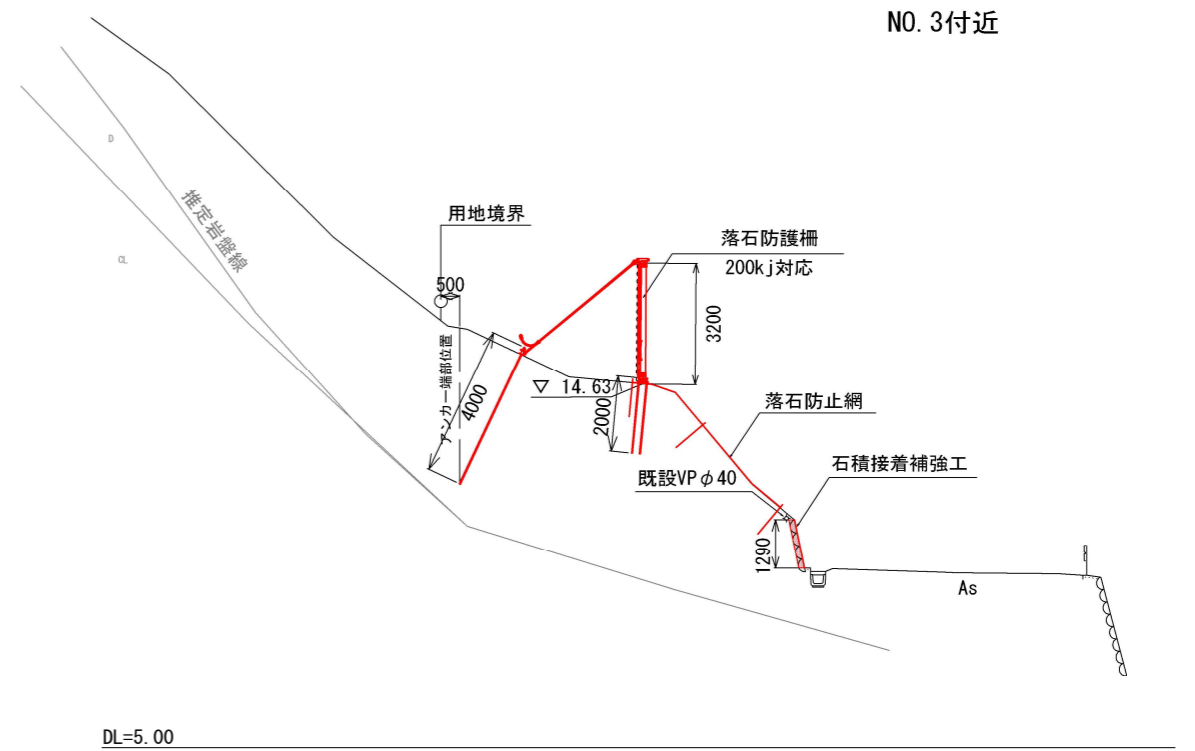
工事名	災害防除(一般国道162号)工事(その10)		
工事場所	京都市北区小野岩戸他地内		
図面名	平面図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	1:400	図面番号	1 / 10
京都市建設局土木管理部北部土木みどり事務所			

# 標準横断図

S=1:200



NO. 2付近



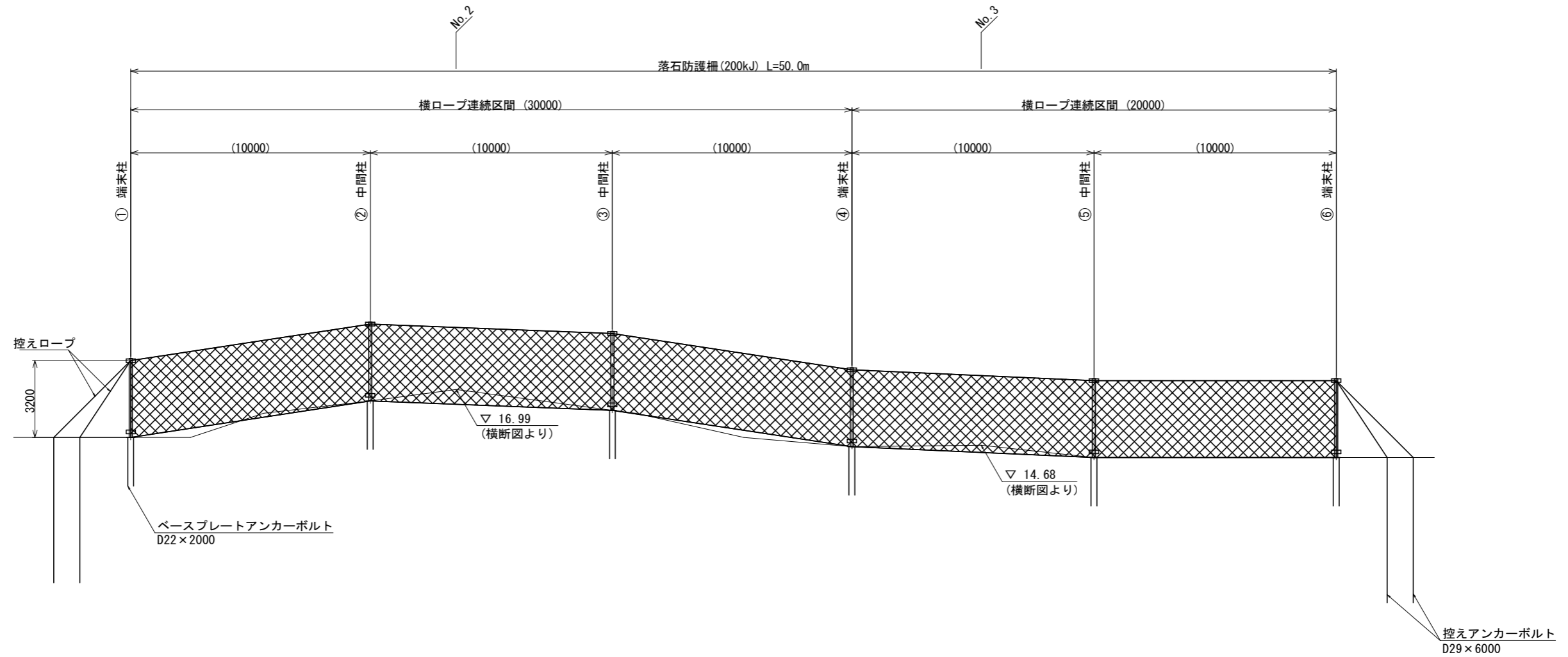
NO. 3付近

— 本工事施工箇所

工事名	災害防除(一般国道162号)工事(その10)		
工事場所	京都市北区小野岩戸他地内		
図面名	標準横断図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	1:200	図面番号	2 / 10
京都市建設局土木管理部北部土木みどり事務所			

# 落石防護柵展開図

S=1:200



## 【留意事項】

- ※ ()内は斜距離を表す
- ※道路側から山側を望む
- ※アンカー長は材料発注前に現地盤調査の上、再決定すること。
- ※支柱設置位置については、現地確認後、監督員の承諾を得ること。

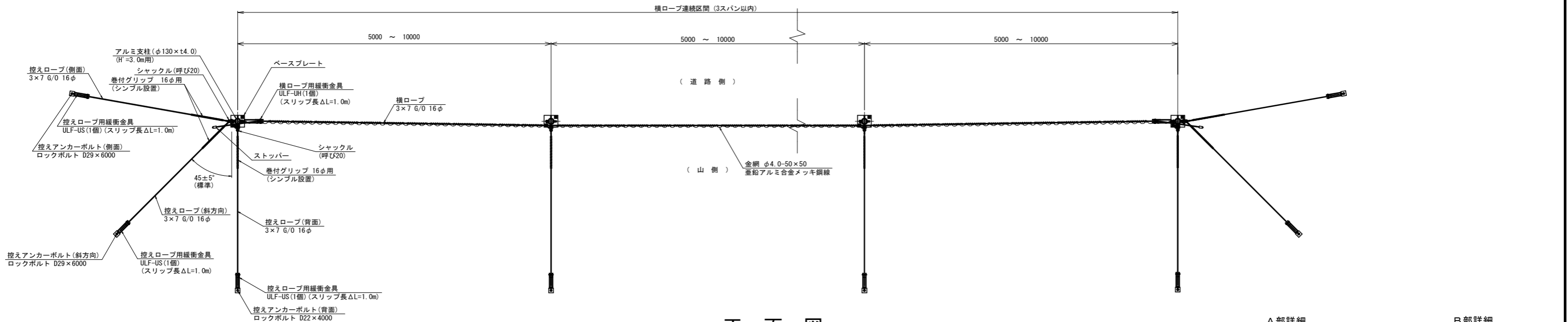
工事名	災害防除(一般国道162号)工事(その10)		
工事場所	京都市北区小野岩戸他地内		
図面名	落石防護柵展開図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	1:200	図面番号	3/10
京都市建設局土木管理部北部土木みどり事務所			

# 落石防護柵構造図 (1)

※側方向控えは支柱が起らないような配置とすること

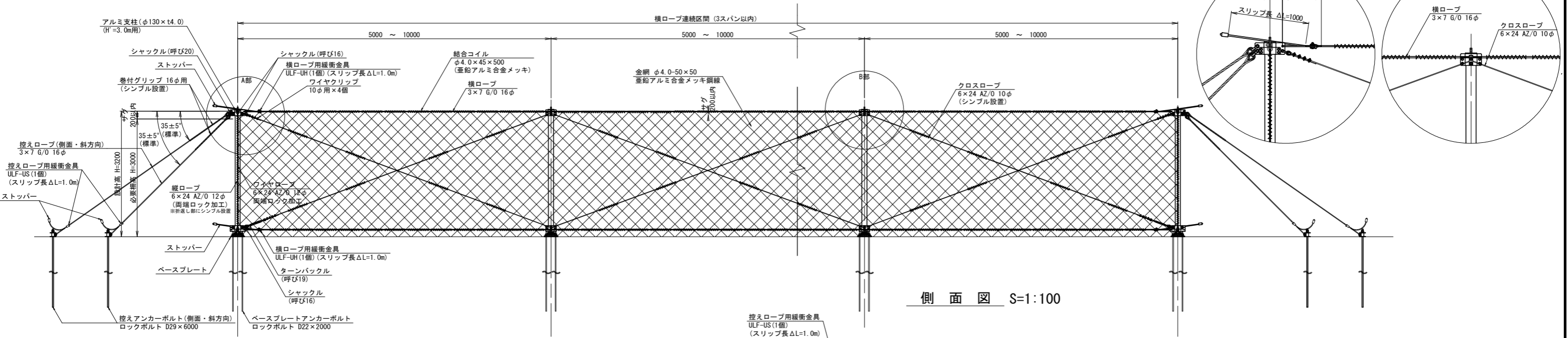
※落石防護柵工はULF-TYPE-R200-H32と同等品以上とする。

平面図 S=1:100

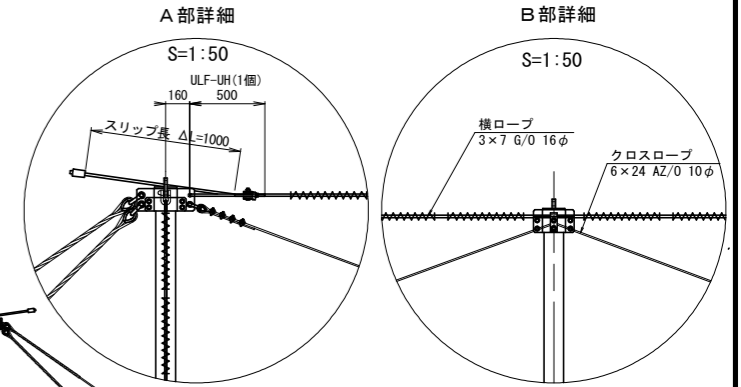


正面図 S=1:100

(山側より)



側面図 S=1:100



※構造物が用地範囲内に収まらない場合は、監督員と協議のうえ控えロープの角度を調整すること。

規格表

可能吸収エネルギー	形式	金網規格	支柱	緩衝金具			縦ロープ	
				横ロープ	クロスロープ	控えロープ		
				背面	側面・斜方向			
200kJ	ULF-TYPE-R200-320	垂鉛アルミ合金メッキ鋼線 φ4.0-50×50	アルミ支柱 (φ130×t4.0)	3×7 G/O 16φ ULF-UH (1個)	6×24 AZ/O 10φ	3×7 G/O 16φ ULF-US (1個)	3×7 G/O 16φ ULF-US (1個)	6×24 AZ/O 12φ

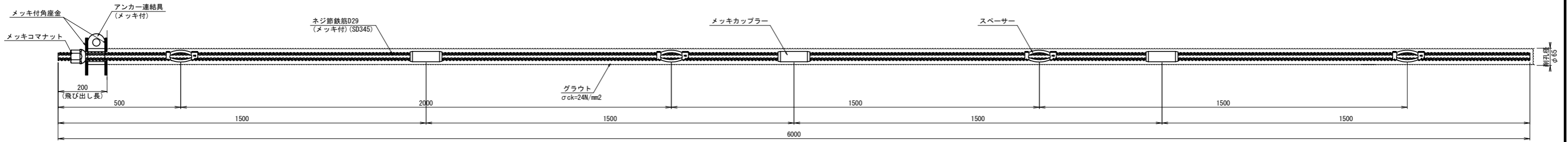
工事名	災害防除(一般国道162号)工事(その10)		
工事場所	京都市北区小野岩戸他地内		
図面名	落石防護柵構造図(1)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	4 / 10

京都市建設局土木管理部北部土木みどり事務所

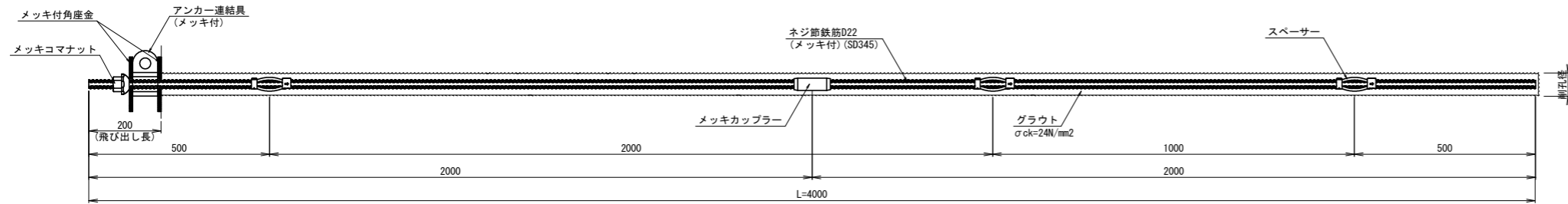
# 落石防護柵構造図 (2)

※アンカー削孔はSD工法を想定している。

控えアンカー(側面・斜方向)標準施工図 S=1:16



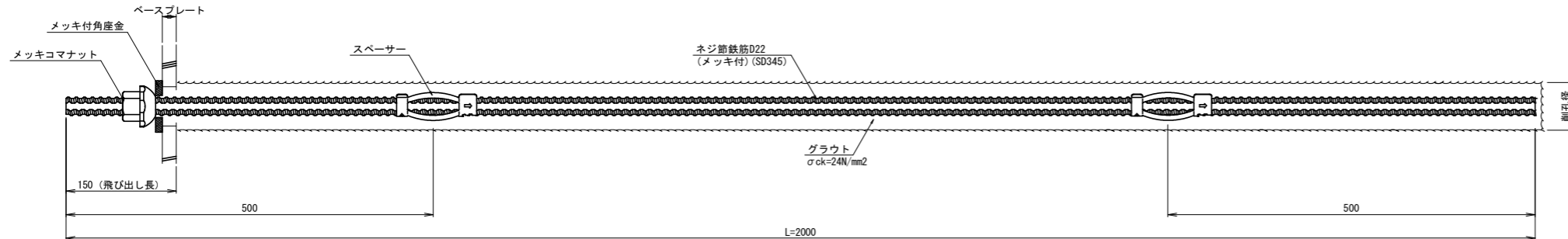
控えアンカー(背面)標準施工図 S=1:16



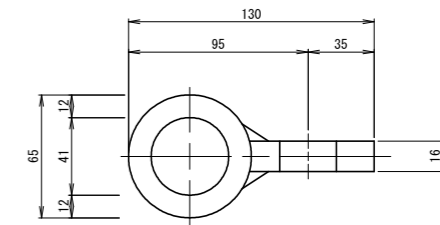
グラウト配合

(σck=24N/mm <sup>2</sup> ) (1m <sup>3</sup> 当り)			
水セメント比 (%)	セメント (C)	水 (W)	減水剤
50% (W+減水剤) / C	1,230kg	590.4L	24.6L

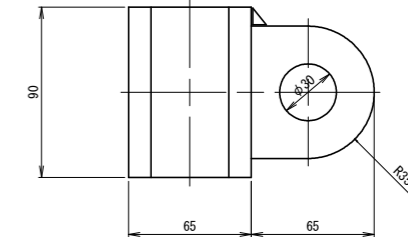
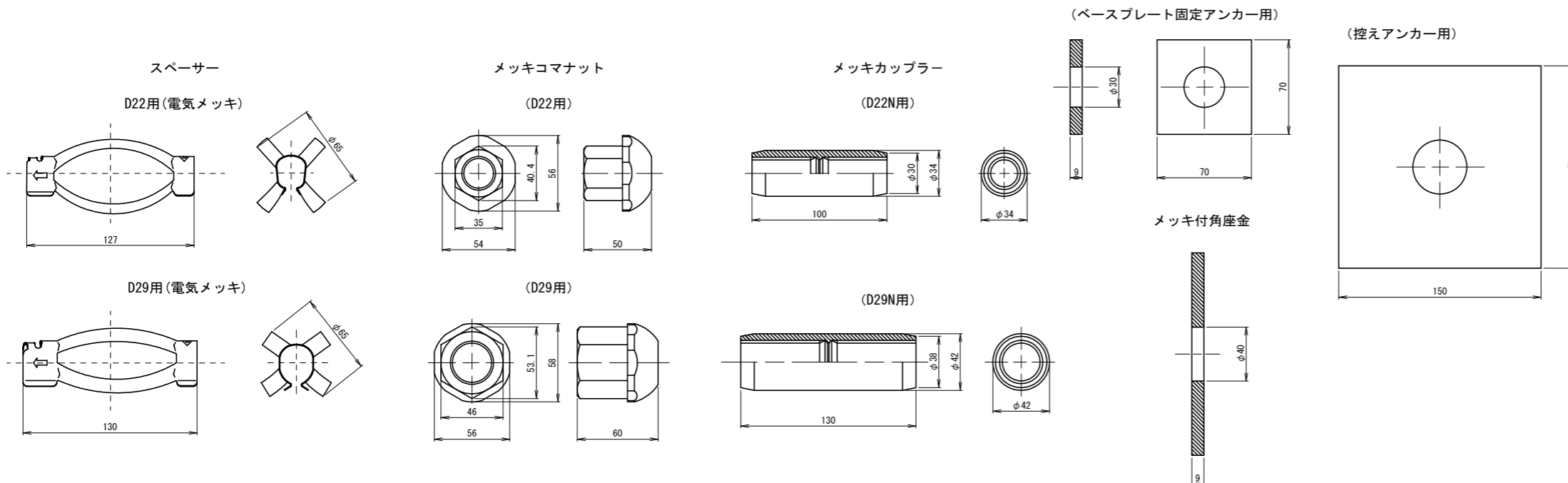
ベースプレート固定アンカー標準施工図 S=1:8



アンカー連結具(メッキ付)



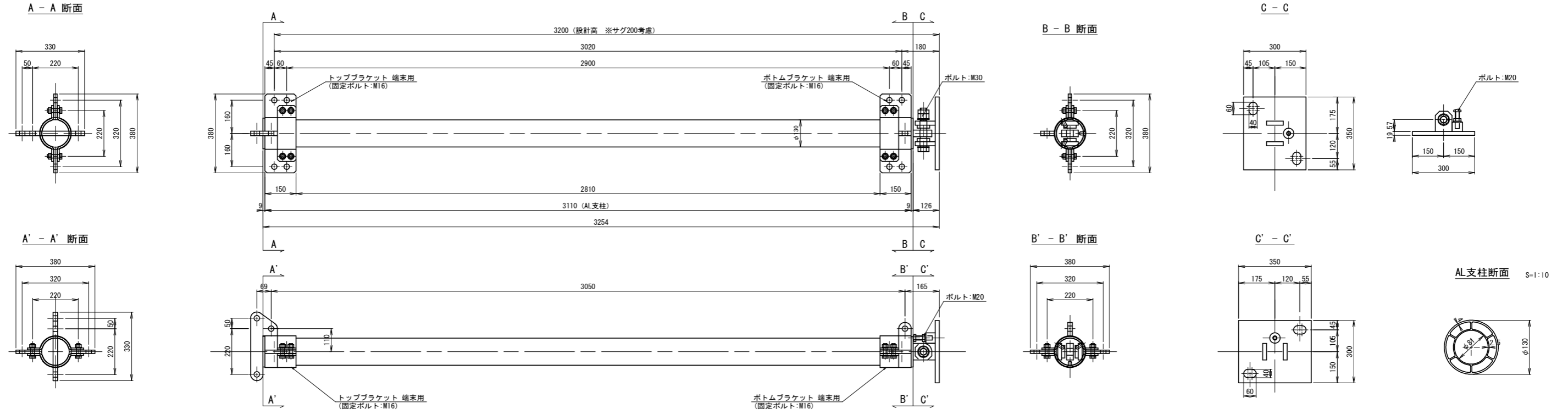
部品詳細図 S=1:4



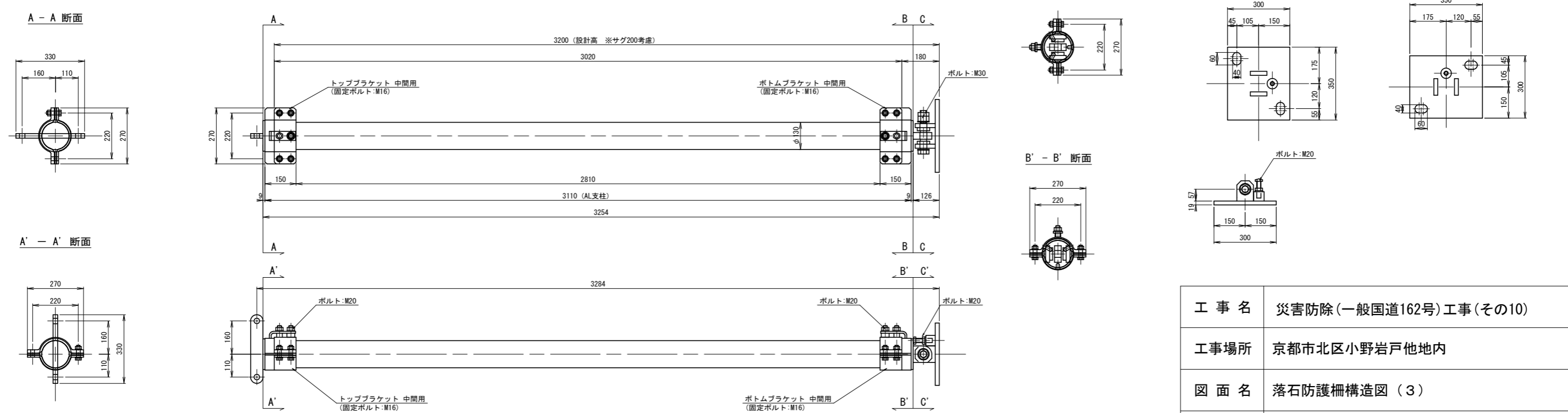
工事名	災害防除(一般国道162号)工事(その10)		
工事場所	京都市北区小野岩戸他地内		
図面名	落石防護柵構造図(2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	5 / 10
京都市建設局土木管理部北部土木みどり事務所			

# 落石防護柵構造図 (3)

端末AL支柱構造図 S=1:20



中間AL支柱構造図 S=1:20

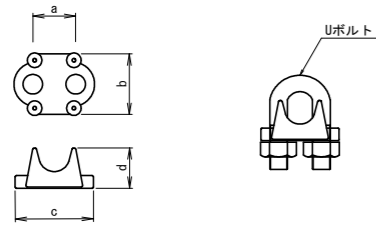


※規格の詳細は7/10の部材一覧表を参照のこと

工事名	災害防除（一般国道162号）工事（その10）		
工事場所	京都市北区小野岩戸他地内		
図面名	落石防護柵構造図（3）		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	6 / 10
京都市建設局土木管理部北部土木みどり事務所			

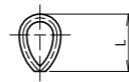
# 落石防護柵構造図 (4)

ワイヤクリップ



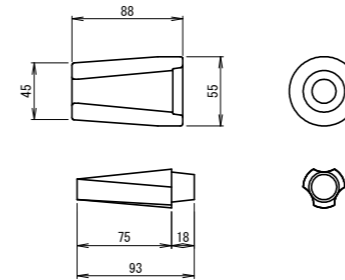
規格	本体寸法				Uボルト	取付個数・間隔		摘要
	a	b	c	d		個数	間隔	
10φ用	22	35	45	23	M10	4	70	クロスロープ

ワイヤロープシンプル



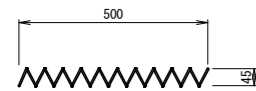
規格	L	摘要
10φ用	58	クロスロープ
12φ用	68	縦ロープ折返し部
16φ用	92	控えロープ(背面) 控えロープ(側面・斜方向)

ストッパー(FCD450) S=1:6  
16φ用



結合コイル S=1:20

φ4.0×45×500  
(亜鉛アルミ合金メッキ)

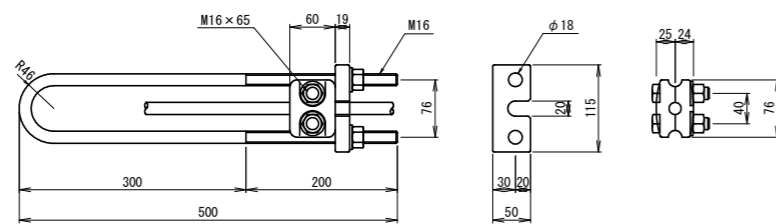


横ロープ用緩衝金具 ULF-UH(1個)

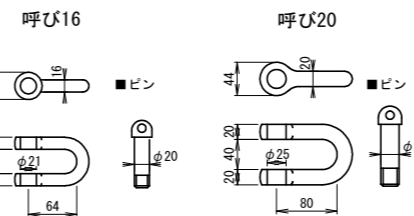
控えロープ用緩衝金具 ULF-US(1個)

(背面, 側面・斜方向)  
16φ用

S=1:10

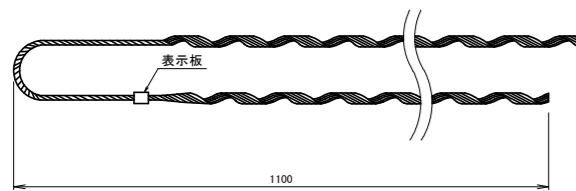


シャックル S=1:10



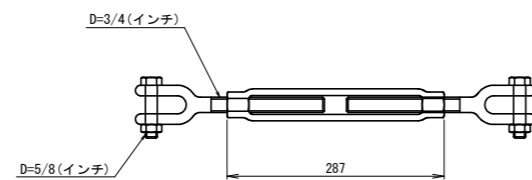
巻付グリップ

16φ用



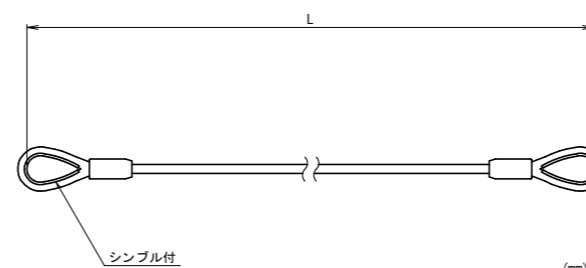
ターンバックル(呼び19) S=1:10

3/4×9" 両ジョー



縦ロープ

6×24 AZ/O 12φ  
(両端ロック加工)



柵高	L
H=3.0m用	5350

※) アルミ支柱φ130用

部材一覧表

(50m当り)

名称	規格・仕様	単位	数量	摘要
金網	亜鉛アルミ合金 メッキ鋼線	架設面積	m <sup>2</sup>	160.0
	φ4.0-50×50	材料面積	m <sup>2</sup>	168.0
支柱ユニット(端末)	アルミ支柱φ130×t4.0 H=3.0m	本	3	
支柱ユニット(中間)	アルミ支柱φ130×t4.0 H=3.0m	本	3	
横ロープ	3×7G/016φ	m	113.4	ロス率5%
クロスロープ	6×24AZ/010φ	m	110.3	ロス率5%
控えロープ(背面)	3×7G/016φ	m	34.7	ロス率5%
控えロープ(側面)	3×7G/016φ	m	11.6	ロス率5%
控えロープ(斜方向)	3×7G/016φ	m	11.6	ロス率5%
縦ロープ	6×24AZ/012φ両端ロック加工	本	3	3.0m用(L=5350)
ターンバックル	両ジョー呼び19	個	7	
シャックル	呼び16	個	14	
シャックル	呼び20	個	10	
ワイヤクリップ	10φ用	個	32	
巻付グリップ	16φ用	個	10	
横・控えロープ用衝撃金具	ULF-US(1個)	組	10	控えロープ (背面・側面・斜方向)
	ULF-UH(1個)	組	8	
ストッパー	16φ用	組	18	
ベースプレートアンカーボルト	ロックボルト D22×2000	本	12	
控えアンカーボルト(背面)	ロックボルト D22×4000	本	6	
控えアンカーボルト(側面・斜方向)	ロックボルト D22×6000	本	4	
控えアンカー連結具		個	10	
ワイヤロープシンプル	10φ用	個	8	
ワイヤロープシンプル	12φ用	個	6	
ワイヤロープシンプル	16φ用	個	10	
結合コイル	φ4.0×45×500 (亜鉛アルミ合金メッキ)	個	207	

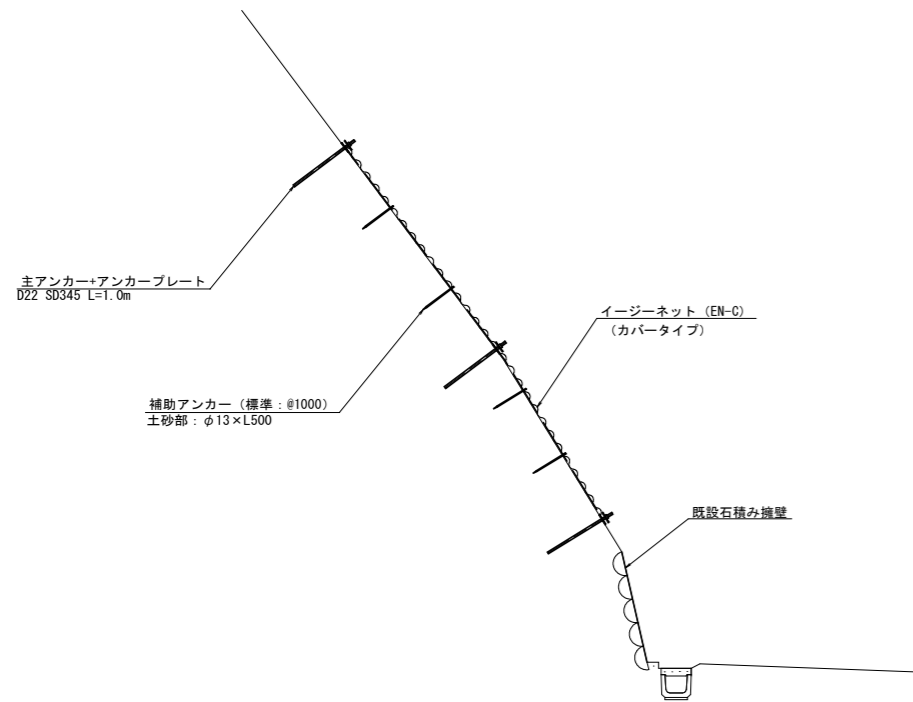
※部材表と同等品以上とする。

工事名	災害防除(一般国道162号)工事(その10)		
工事場所	京都市北区小野岩戸他地内		
図面名	落石防護柵構造図(4)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	7 / 10
京都市建設局土木管理部北部土木みどり事務所			

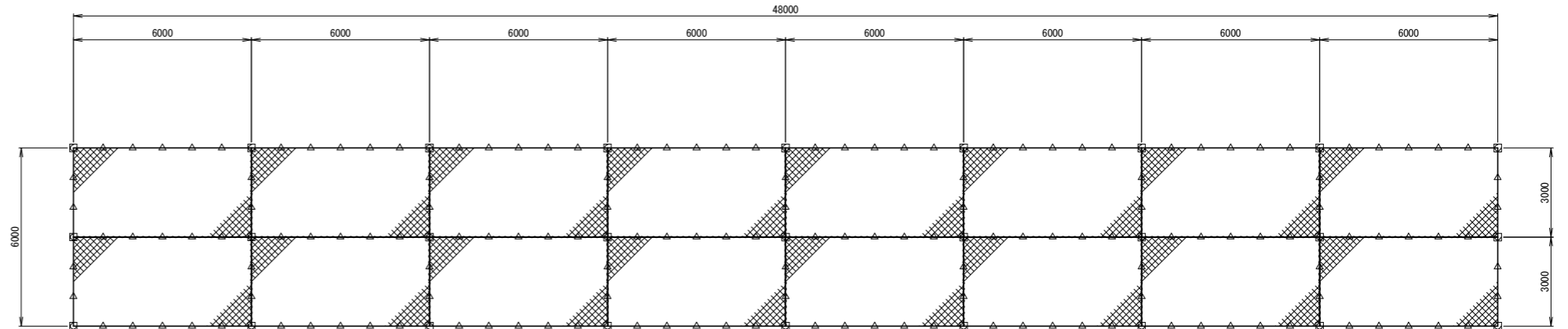
# 落石防止網工一般構造図

※ 落石防止網工は、イージーネット工法カバータイプ(EC/180B)と同等以上とする。

断面図 S=1:100

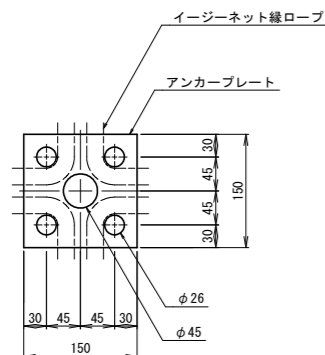


展開図 S=1:200

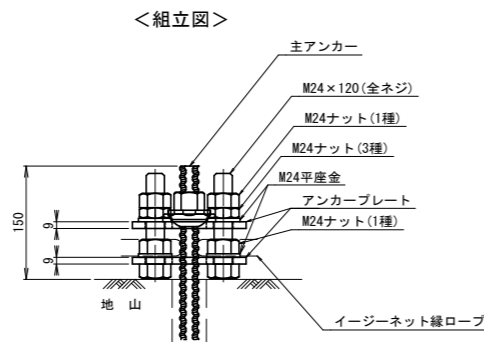


注記) ・施工範囲は監督員と協議のうえ決定すること。  
 ・主アンカーはN値10の砂礫を想定し、補助アンカーは土砂地盤を想定している。  
 現地条件がこれと異なる場合は、監督員と協議を行うこと。

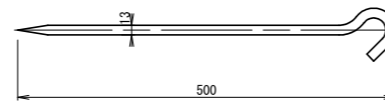
アンカープレート詳細図 S=1:10



補助アンカー詳細図 S=1:10



<土砂用：φ13×L500(SS400)>



■ 1セット当りの部材構成

部材名称	数量
アンカープレート(本体)	2枚
M24ボルト(首下120全ネジ)	4本
M24ナット(1種)	8個
M24ナット(3種)	4個
M24平座金	8枚

材料表

設置面積：259.2m<sup>2</sup>

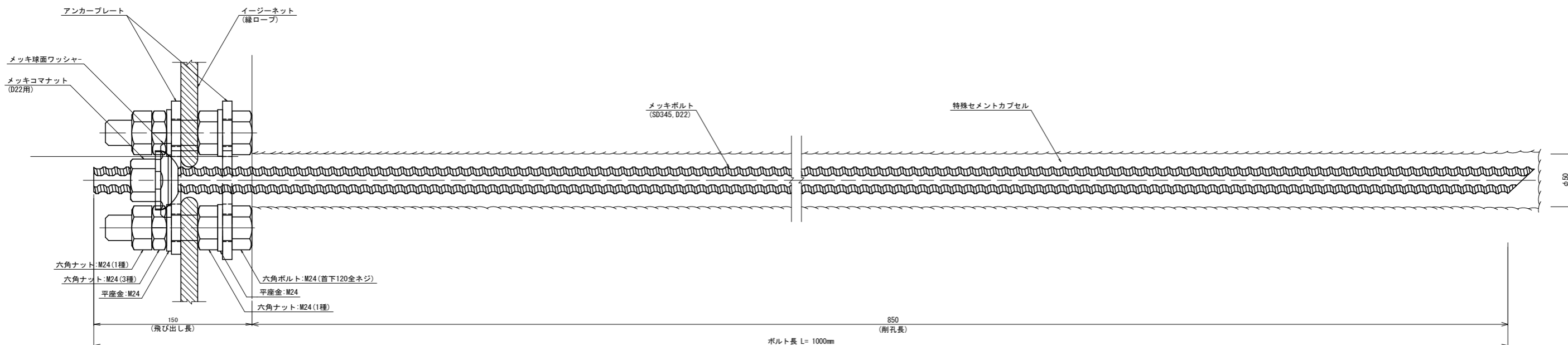
名称	規格	数量	記号
イージーネット	Pe440dtex/180本-200mm Pe440dtex/36本-50mm [H3.0m×W6.0m]	16枚 (288m <sup>2</sup> )	
ネット接続繊維ロープ	テトロンテール 12mm	225m	
主アンカー	ロックボルト D22-1000	27本	
アンカープレート	150×150×t9.0、上下2枚組	27組	
補助アンカー	φ13×L500	156本	

工事名	災害防除(一般国道162号)工事(その10)		
工事場所	京都市北区小野岩戸他地内		
図面名	落石防止網工一般構造図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	8 / 10
京都市建設局土木管理部北部土木みどり事務所			

# 落石防止網アンカー詳細図

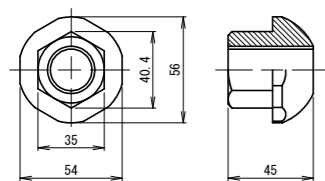
S=1:4

## 標準組立図

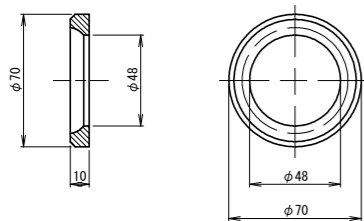


## 部品詳細図

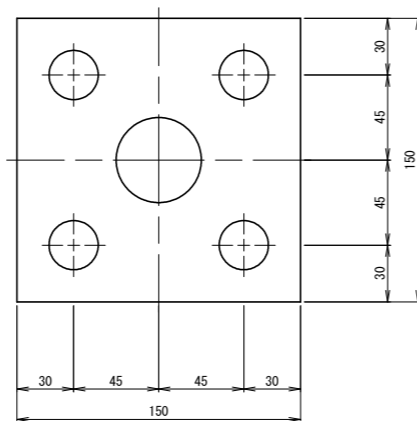
メッキコマナット (FCAD 900-8)  
※ボルト部材 (D22用)



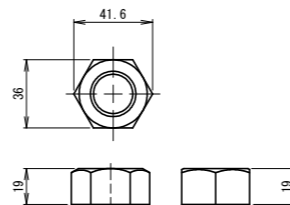
メッキ球面ワッシャー (FCAD 900-8)  
※ボルト部材



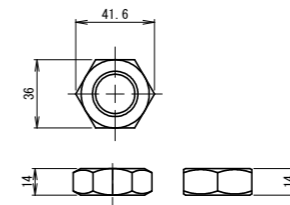
アンカープレート (SS400)  
(メッキ付)



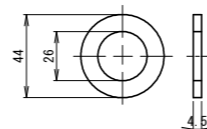
六角ナット:M24 (1種)  
(メッキ付)



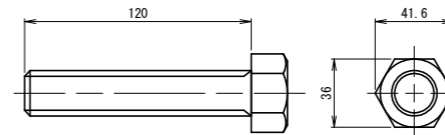
六角ナット:M24 (3種)  
(メッキ付)



平座金:M24  
(メッキ付)



六角ボルト:M24 (首下120全ネジ)  
(メッキ付)



アンカー1セット当りの部材構成

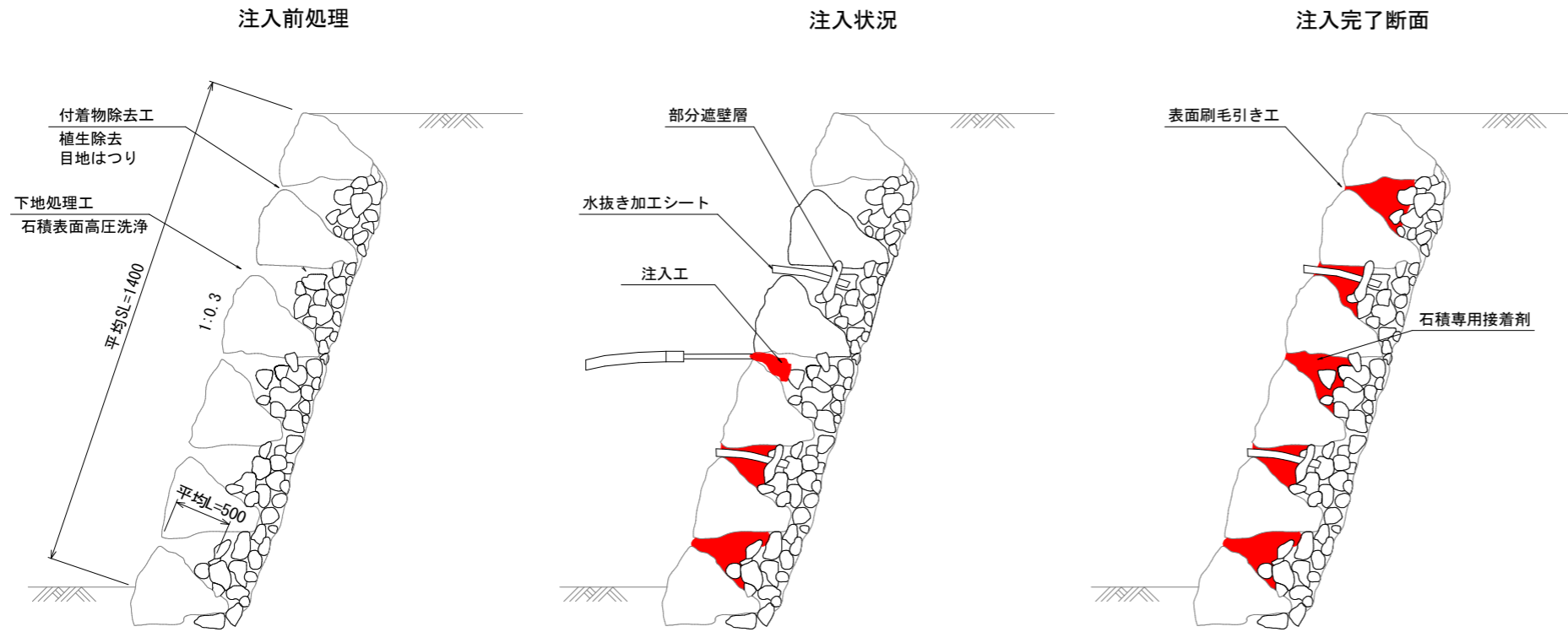
部材名称	数量
アンカープレート (本体、メッキ付)	2枚
六角ボルト:M24 (首下120全ネジ、メッキ付)	4本
六角ナット:M24 (1種、メッキ付)	8個
六角ナット:M24 (3種、メッキ付)	4個
平座金:M24 (メッキ付)	8枚
メッキコマナット (FCAD 900-8)	1個
メッキ球面ワッシャー (FCAD 900-8)	1個

工事名	災害防除(一般国道162号)工事(その10)		
工事場所	京都市北区小野岩戸他地内		
図面名	落石防止網アンカー詳細図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	1:4	図面番号	9 / 10
京都市建設局土木管理部北部土木みどり事務所			

# 石積接着補強工一般図

※石積接着補強工法は、NETIS登録（QS-220012-VR）と同等品以上とする。

断面図



石積接着補強工(注入工) 一式当たり (63.0m<sup>2</sup>当たり)

平均高 (m)	延長 (m)	面積 (m <sup>2</sup> )	深さ (m)	注入割合 (%)	注入量 (L)
1.40	45.0	63.0	0.50	10	3150

※既設石積擁壁の注入工の一式当たりの注入割合は10%を想定している。

工事名	災害防除(一般国道162号)工事(その10)			
工事場所	京都市北区小野岩戸他地内			
図面名	石積接着補強工一般図			
事業年度	令和8年度			
縮尺	図示	図面番号	10 / 10	
京都市建設局土木管理部北部土木みどり事務所				